



第九十回党大会

二月二十六日（日）、自由民主党大会が東京都内のホテルで開催されました。岩手県連からは県連所属国会議員、代議員、優秀党組織から2名が代表として出席いたしました。

今回、優秀党員として村田芳三様（盛岡市支部）、荒木久一様（住田町支部）、佐々木勉様（湯田支部）の3名。優秀党組織として、矢巾町支部（白澤勉支部長）、岩手県たばこ耕作支部（滝沢正一支部長）の2支部。友好団体として、岩手県農協政治連盟（小野寺敬作委員長）が受賞されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

総裁演説において岸田総裁は「統一地方選は今後の党の浮沈を懸けた一大決戦であり、必ずや勝利する。物価高を克服し、国民生活を守り抜く。少子化という重大な危機に立ち向かい、総合的な対策を強化する。早期の憲法改正実現へ情報発信を加速し国民の理解と共感を得る。そして東北の復興無くして日本の再生なし。次の十年を創るため、新たな一歩を踏み出す時だ。ともに挑戦を続けていこう。」と力強く呼びかけました。



党本部とも連携し、九月の知事・県議選に向けてしっかりと取り組んでまいります。

いわて政治塾第五回・第六回講座、卒塾式

三月十二日（日）、「いわて政治塾」第五回講座と第六回講座、及び第三期卒塾式が開催されました。冒頭の藤原崇塾頭の挨拶に続き、第五回講座では、築和生衆議院議員が「食料安全保障の強化に向けて」と題し講演しました。食料自給率や、飼料価格高騰対策、食料安全保障予算、食料・農業・農村基本法の見直し等、農政全般にわたり説明し、農業に携わる塾生も多く参加しており、貴重な機会となりました。

続いて第三期最後となる第六回講座は、和田義明衆議院議員より「こども家庭庁とこども政策」について講演がありました。政府がこれまで行ってきた、こども・子育て支援策や四月設置予定のこども家庭庁の取り組み、関係予算等について講演いただきました。



引き続き行われた「卒塾式」では、岩崎友一塾長から第三期を修了した26名一人ひとりに修了証書が授与され、「第三期いわて政治塾」が無事修了いたしました。

次回の「第四期いわて政治塾」は、統一地方選挙の各級選挙、九月の知事選、県議選終了後に募集を開始し、本年中の開塾を予定しております。

